別図第二号(第36条の2第1項第2号関係)

1　インマルサットC型を使用するもの

呼出しの種類（注1）	自局の識別表示	相手局の識別表示	遭難の位置及び時刻	遭難の種類	通報に係る事項（注2）	誤り検定符号

注1　「10100011」(最後に送るものにあつては「10100001」)であること。

注2　船舶の進路等をコード化したものであること。

2　インマルサットF型を使用するもの

同期符号	呼出しの種類(注1)	自局の識別表示	相手局の識別表示	通報の型式（注2）	遭難の位置（注3）	誤り検定符号

注1　「11100011」であること。

注2　引き続いて行う通報の型式等をコード化したものであること。

注3　船舶の位置をコード化したものであること。

3　第12条第6項第2号に規定する船舶地球局の無線設備を使用するもの

ポートのバージョン	遭難の種別	固定時間	通報の型式	遭難の位置	通報に係る事項（注1）	識別表示	遭難の時間	信頼性に関する符号	誤り検定符号

注1　船舶の進路等をコード化したものであること。